

# 生徒指導通信

令和8年5月20日  
熊野町立熊野東中学校  
生徒指導部

## ～交通安全教室で学んだ「命」を守るルール～

5月15日、海田警察署から講師をお招きし、全校生徒を対象とした交通安全教室を実施しました。体育館で行われた講話では、道路交通法の改正や事故の恐ろしさ、そして「加害者にも被害者にもならない」ための具体的な行動について学びました。今回は、この教室で学んだことを振り返り、本校の重点目標である\*\*「やり切る力」\*\*を交通安全の場面でも発揮していきましょう。

### 1. ～6月に潜む「慣れ」の罠～

新年度が始まって約2ヶ月が経過しました。この時期、私たちの登下校には大きな危険が潜んでいます。

#### ○「慣れ」による油断

入学・進級当初の緊張感が薄れ、通学路の状況に慣れてくる6月は、1年の中でも特に自転車事故が多い時期です。

#### ○中学1年生の事故リスク

統計上、中学1年生が大きな事故に遭いやすく、登下校の時間帯（午前8時・午後6時頃）に事故が集中しています。

#### ○梅雨の悪条件

これから迎える梅雨の時期は、路面が滑りやすく視界も悪くなります。傘を差しながらの運転は道交法違反であり、非常に危険です。雨の日はカッパを着用することを徹底しましょう。



### 2. 自転車は「車の仲間」とであるという自覚

交通安全教室で強調されたのは、自転車が\*\*「軽車両」\*\*であるという事実です。

#### ○原則は車道通行

中学生以上は原則として車道を通行しなければなりません。歩道を通行できるのは、「自転車歩道通行可」の標識がある場所や、安全確保が必要な例外的な場合に限られます。

#### ○歩道は「歩行者優先」

歩道を通行する際は、歩行者の妨げにならないよう徐行し、ジグザグ走行などは絶対に禁止です。

#### ○絶対禁止！4つの「ながら運転」

- ・スマホの操作をしながらの運転
- ・イヤホンの使用（周囲の音が聞こえない状態）
- ・傘差し運転
- ・二人乗り

これらはすべて道路交通法違反であり、あなた自身の、そして誰かの命を奪う行為に繋がります。



### 3. もし事故が起きてしまったら ～絶対に守るべき緊急対応～

交通安全教室では、万が一事故の当事者（加害者・被害者）になった際の対応も学びました。

#### ○その場から立ち去らない

相手が「大丈夫」と言ったとしても、絶対にその場を離れてはいけません。後で怪我が判明した場合、\*\*「ひき逃げ」\*\*となる恐れがあります。

#### ○救護と報告

けが人の救護を最優先し、必ず警察（110番）（必要があれば救急（119番））に連絡してください。

#### ○周囲の大人に助けを求める

パニックにならず、近くの大人や先生、保護者にすぐに連絡をしましょう。

交通安全教室での学びを振り返る中で、どうしても皆さんに伝えなければならない非常に残念な出来事がありました。せっかくの学びを自分事として捉え、行動に移すために、以下の内容を真剣に読んでください。

#### 【緊急】交通安全教室の当日に届いた「地域の声」

交通安全教室で私たちは「命を守るルール」について深く学んだはずでした。しかし、その教室が終わった直後の下校時間帯、地域の方から「中学生が自転車で並進（並んで走行）していて、非常に危ない」という内容の電話が学校に入りました。

#### ○「知っている」と「やっている」は違います

講話の内容を「知識」として知っているだけでは、命は守れません。大切なのは、それを実際の生活の中で\*\*「行動」としてやり切ること\*\*です。

#### ○並進（並んで走る）は交通違反です。

道幅をふさぎ、周囲の車や歩行者に恐怖心を与えるだけでなく、接触事故を誘発する極めて危険な行為です。

#### ○命を守るマナーについて、もう一度真剣に考えてください

「自分たちは大丈夫」「ちょっとくらいなら」という甘い考え（油断）が、取り返しのつかない事故を招きます。並進している皆さんの横を通り抜ける車や歩行者が、どれほど怖い思いをしているか想像できていますか？

#### ○自律した東中生として

本校の重点目標である「やり切る力」とは、誰も見ていない場所でも正しいルールを守り抜く力のことです。

皆さんの命は、あなただけのものではありません。家族や地域の方々の安心のためにも、自転車の交通ルールとマナーについて、今一度、自分自身の胸に手を当てて真剣に考えてください。「当たり前」の行動で、自分と相手の命を守り抜く。今日の下校から、皆さんの「本気」を見せてください。

「当たり前」のその先へ。

熊野東中学校の生徒全員が、事故ゼロで笑顔で登校できる毎日をもみんなの自律した心で創り上げていきましょう！